

資料編

【 目 次 】

- 1 在留外国人数 P 1 3
- 2 在住者の在留資格の状況 P 1 4
- 3 外国人労働者の状況 P 1 5
- 4 教育分野等における外国青年の活用 P 1 6
- 5 教育分野等における在留者の状況 P 1 6
- 6 国際観光の状況 P 1 7
- 7 外国人住民アンケート調査結果 P 1 8
- 8 外国人材雇用に関するアンケート調査結果 P 1 9
- 9 外国人留学生アンケート結果 P 2 0

1 在留外国人数

(1) 国籍・地域別外国人数

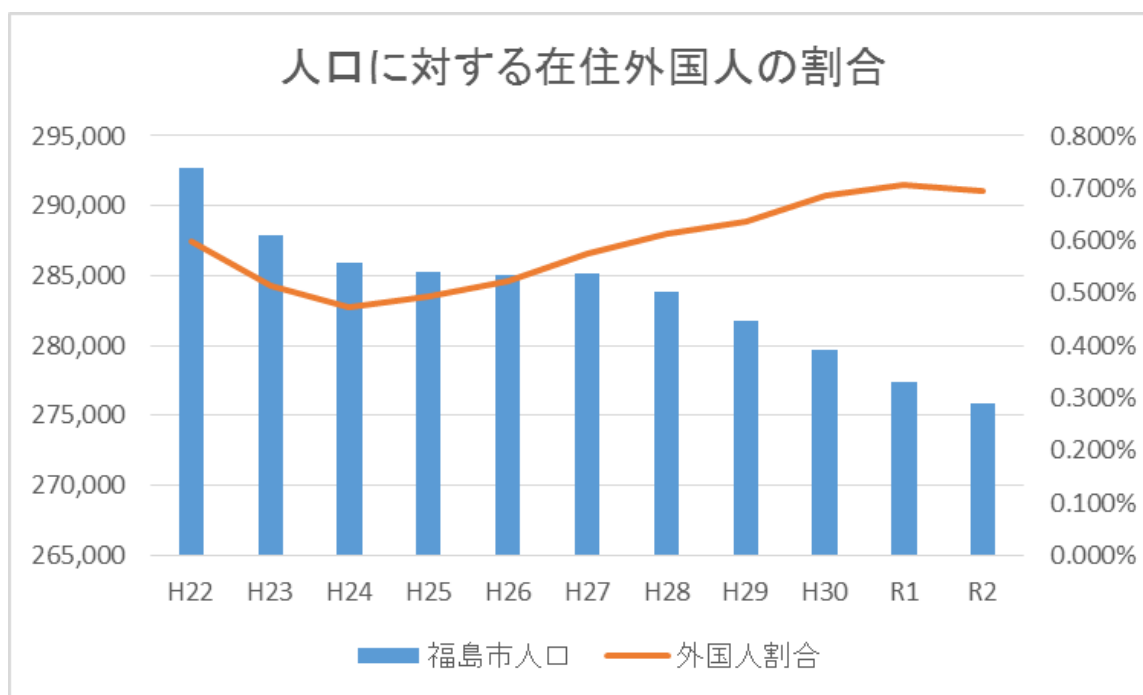
福島市の国・地域別外国人数（人）の推移は以下のとおりです。

国・地域名/年	H20	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1.12	R2
中国	1,038	576	578	585	576	583	575	568	556	573	539
フィリピン	446	363	378	381	379	383	388	433	421	423	429
ベトナム	28	15	26	47	88	162	207	288	294	305	304
韓国・朝鮮	210	172	182	176	199	189	181	169	165	162	166
ネパール	6	28	31	50	115	116	95	67	79	86	79
その他	272	196	217	253	283	309	346	394	445	454	404
合計	2,000	1,350	1,412	1,492	1,640	1,742	1,792	1,919	1,960	2,003	1,921
対前年同月 増減数（人）	30	▲132	62	80	148	102	50	127	41	79	▲39
対前年同月 増減率	2%	▲9%	5%	6%	10%	6%	3%	7%	2%	4%	▲2%

※各年 10 月末日時点

(2) 人口に対する在住外国人の割合

福島市の人口と、それに占める在住外国人の割合の推移は以下のとおりです。

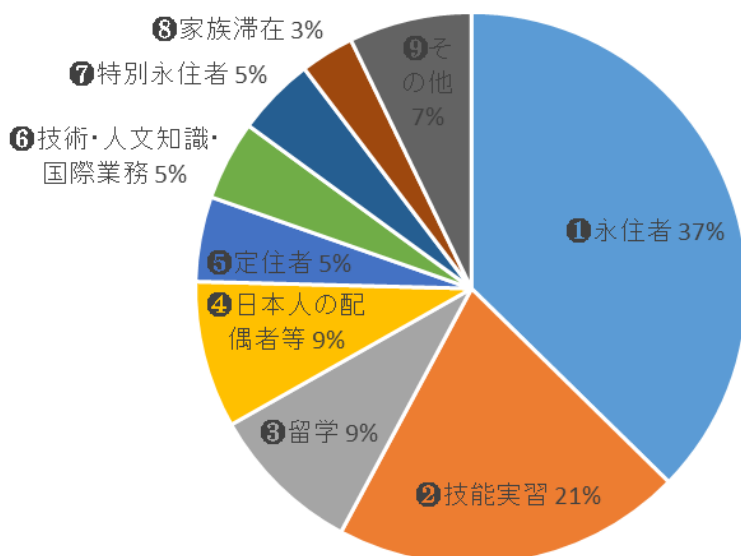


※各年 10 月末日現在

2 在住者の在留資格の状況

(1) 在住者の在留資格の状況 (R2年12月末現在)

福島市在留資格別人口割合



【参考】 国内の在留外国人 (R2年6月末現在)

①永住者	800,872人 (構成比 27%)
②技能実習	402,422人 (構成比 13%)
③特別永住者	309,282人 (構成比 10%)
④技術・人文知識・国際業務	288,995人 (構成比 10%)
⑤留学	280,273人 (構成比 9%)

在留資格	日本において行うことができる活動又は有する身分・地位	在留期間
①永住者	法務大臣が永住を認める者	無期限
②技能実習	技能実習法上の認定を受けた技能実習計画に基づいて講習を受け、及び技能等に係る業務に従事する活動	法務大臣が個々に指定する期間
③留学	大学や高等専門学校、高等学校、小中学校等、専修学校等において教育を受ける活動	～4年3月
④日本人の配偶者等	日本人の配偶者若しくは特別養子又は日本人の子として出生した者	～5年
⑤定住者	法務大臣が特別な理由を考慮し一定期間指定し居住(日系3世等)	～5年
⑥特別永住者	入管特例法に定められた者(在日韓国人、朝鮮人等)	無期限
⑦技術・人文知識・国際業務	公私の機関との契約に基づき、自然科学や人文科学の分野に属する技術・知識を要する業務等に従事する活動	～5年
⑧家族滞在	在留資格をもって在留する者の扶養を受ける配偶者又は子	～5年

3 外国人労働者の状況

福島県及び福島公共職業安定所管内の外国人労働者の状況は以下のとおりです。

(福島労働局発表資料より)

○外国人雇用事業所数及び外国人労働者数

	事業所数 (所)		構成比 (%)	外国人労働者数 (人)		構成比 (%)
		うち派遣・請負事業所【比率 (%)】			うち派遣・請負事業所【比率 (%)】	
福島公共職業安定所	356	45 【12.6】	18.9	1,958	313 【16.0】	19.7
福島県計	1,880	160 【8.5】	100.0	9,958	1,248 【12.5】	100.0

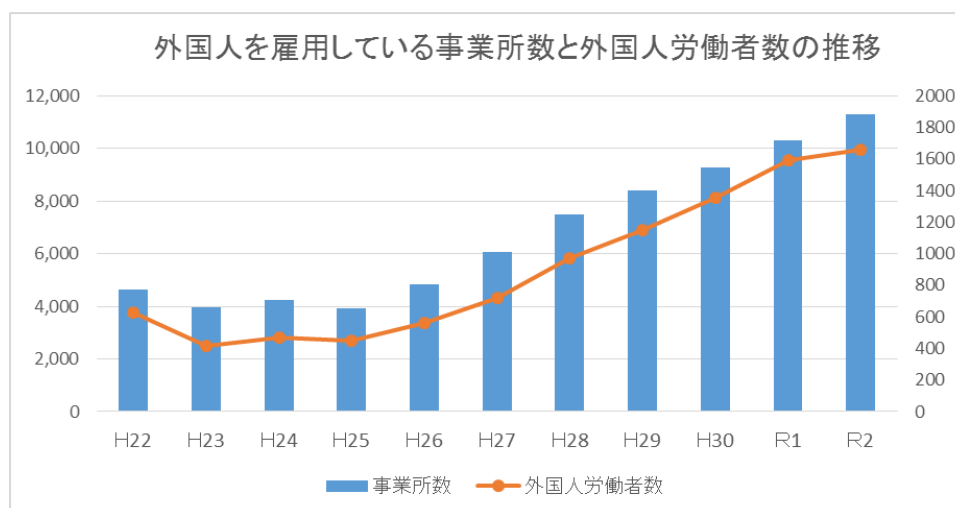
※令和2年10月末現在

◇県外国人労働者の内訳 (国籍別・業種別の上位3項目)

国籍	人数 (人)	うち派遣等 (人)	構成比 (%)
①ベトナム	3,442	233	34.6
②中国	1,916	231	19.2
③フィリピン	1,605	335	16.1

業種	人数 (人)	構成比 (%)
①製造業	4,095	41.1
②卸売業/小売業	1,548	15.5
③建設業	952	9.6

◇県外国人労働者数の推移



※各年10月末時点

4 教育分野等における外国青年の活用

(1) 「語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）」

外国語教育の充実と地域レベルでの国際交流の進展を図るため、総務省、外務省及び文部科学省の協力のもと福島市において海外青年を招致しています。

【福島市の任用状況】

区分	出身国	任用者数	主な職務内容
ALT（語学指導助手）	アメリカ、カナダ他	9人	小中学校での外国語授業等の補助等
CIR（国際交流員）	オーストラリア	1人	市国際交流関係事務の補助等

※令和3年4月現在

※上記のほか、ALTとしてJETプログラム修了者1人を市教育委員会において任用しています。

5 教育分野等における在留者の状況

(1) 市内所在大学別の留学生受け入れ数

市内所在大学の留学生受け入れ状況は以下のとおりです。受け入れ実績のある大学のみ記載しています。

【令和2年11月現在】（福島県生活環境部国際課「福島県の国際化の現状（令和2年度版）」より）

- ①福島大学 **81人**（中国38人、ベトナム22人、マレーシア5人、他）
- ②県立医科大学 **5人**（ネパール2人、スーダン1人、台湾1人、他）

(2) 本市小・中学校における海外帰国者・海外国籍者（R2年5月現在）

区分	人数	内訳
①日本国籍を有する海外帰国等の児童・生徒	30人	小学校22人、中学校8人
②外国籍の児童・生徒	31人	小学校23人、中学校8人
合計	61人	

※合計54人うち、日本語指導が必要な児童・生徒 **合計 18人**

7 外国人住民アンケート調査結果

(1) 調査の概要

- ①調査方法 郵送調査
②調査対象 20歳以上の福島県内外国籍住民（無作為抽出）
③調査期間 令和元年9月～11月
④調査票言語 日本語、英語、中国語、ベトナム語
⑤発送・回収 発送2,800件（人） 回収571件（人） 回収率20.4%
※うち、本市回収分は93件（人）で全体回収数の16.3%
⑥調査実施機関 福島県生活環境部国際課 ※本市も調査協力

(2) 調査結果の概要（主なもの）

※以下の黒丸数字は回答順位

- ①日本国内での在住年数： 10年以上居住者が52%
②行政への要望 【※回答のうち、「強く望む」・「少し望む」の合計】
：①日本語の勉強機会の増（456人）、②外国語で医療・薬局の利用（440人）、
③外国語相談窓口（428人）、④生活ルール・習慣を学ぶ機会の増（427人）、
⑤日本人と外国人の交流機会の増（425人）
③行政への要望 【※回答のうち、「強く望む」】
：①就職支援（319人）、②外国語で医療・薬局の利用（301件）、
③日本語の勉強機会の増（293件）
④日常生活で困っていること
：①言葉が通じない（186人）、③原発事故・放射能（148人）、
⑤病気になったときの対応（130人）、⑥日本人からの偏見・差別（127人）
⑤困ったときの相談相手
：①家族や親せき（363人）、②母国出身の友達（228人）
⑥日常生活に必要な情報
：①災害時など緊急時の情報（229人）、②福祉（223人）、③医療（213人）、
④仕事（199人）、⑤県市町村からのお知らせ（182人）
⑦情報収集先
：②スマホ・携帯電話（234人）、③パソコン（230人）
④母国出身の友達（217人）
⑧日本語を勉強しない理由 【※回答者248人のうち】
：③日本語教室がない（55人）、④日本語教室の情報がない（50人）
⑨隣近所とのトラブル
：①特にない（453人）
⑩子どもの教育で困っていること 【※回答者157人のうち】
：①書類が日本語でわかりにくい（52人）、②母国のルールと違う（47人）、
③先生や保護者とのコミュニケーション（26人）

8 外国人材雇用に関するアンケート調査結果

※以下の内容は、県調査結果をもとに本市において独自に整理したもの

(1) 調査の概要

- ①調査方法 郵送調査
- ②調査対象 県内事業所
- ③調査期間 令和元年5月
- ④発送・回収 発送2,635件(事業所) 回収1,360件(事業所) 回収率51.6%
※うち、本市を含む県北地域回収分は359件(事業所)で
全体回収数の26.4%、外国人雇用人数は982人
- ⑤調査実施機関 福島県商工労働部雇用労政課

(2) 調査結果の概要(主なもの)

※以下の黒丸数字は回答順位

- ①外国人雇用の状況
: ①雇用中(47.1%)、 ③雇用なし(雇用歴あり)(7.3%)
- ②業種別の雇用者数
: ①製造業(47.1%)、 ②サービス業(25.6%)、 ③建設業(8.3%)
- ③出身国別の雇用者数
: ①ベトナム(34.8%)、 ②中国(18.9%)、 ③フィリピン(18.7%)
- ④外国人雇用の理由
: ①人手不足対応(70.5%)、 ②専門人材確保(17.6%)
- ⑤外国人労働者に対する評価
: ①満足(43.0%)、 ②やや満足(36.1%)、 ③どちらともいえない(14.8%)
- ⑥外国人労働者からの不満等
: ①特になし(60.5%)、 ②より多くの仕事がしたい(24.5%)
- ⑦外国人雇用の課題
: ①コミュニケーション(34.8%)、 ②コスト(29.1%)、
③入管等手続きの手間(25.4%)、 ④研修・教育の手間(21.8%)
- ⑧求める外国人材
: ①技能実習生(51.4%)、 ②特定技能1号(一定の日本語能力、技術力)(50.0%)、
③高度技術を有する専門職層(留学生新卒含む)(23.6%)
- ⑨外国人採用活動の際の課題
: ①外国語への対応苦慮(46.3%)、 ②制度の理解・手続きの負担(44.4%)
③採用するためのコストが予想より大きい(29.0%)
- ⑩外国人雇用で行政に期待すること
: ①日本語習得・教育等の支援(49.9%)、
②外国人雇用に係る制度の情報提供(39.3%)
③外国人雇用に関する企業向け相談窓口の設置(39.1%)

9 外国人留学生アンケート調査結果

(1) 調査の概要

- ①調査方法 オンライン回答
- ②調査対象 市内大学在学中の外国人留学生（福島大学、福島県立医科大学）
- ③調査期間 令和3年2月
- ④調査票回収 回収77人 回収率 89.5%
- ⑤調査実施機関 福島市（定住交流課）

(2) 調査結果の概要（主なもの）

※以下の黒丸数字は回答順位

- ①福島市の大学に留学した理由は何ですか？（※複数回答可）
 - ：①勉強したい科目や先生がいる（40人）、
 - ②母国の先生・知人からの紹介（29人）、
 - ③学費や生活費が他の地域より安い（20人）
 - ④豊かな自然や温かい人間性（19人）
- ②福島市で好きな場所はどこですか？（※複数回答可）
 - ：①自然や公園（51人）、②温泉・公衆浴場（32人）、③大学や寮（26人）
- ③留学している間に何回病院に行きましたか？
 - ：①1～3回（42.9%）、②行ったことがない（36.4%）、③4回以上（20.8%）
- ④福島市の生活で困ったことは何ですか？（※複数回答可）
 - ：①学費や生活費などのお金（33人）、②大学での勉強が大変（28人）、
 - ③日本語でのコミュニケーション（25人）、
 - ④病気のとき、どの病院に行けばよいのかわからない（13人）
- ⑤福島市での生活で足りないと感じる情報は何か？（※複数回答可）
 - ：①買い物や食事のお店（29人）、②アルバイト（24人）、
 - ③地域での交流活動やイベント（24人）、④医療（病院・予防接種など）（22人）
- ⑥福島市での生活に必要な情報は主にどこから得ていますか？
 - ：①インターネット検索（48.1%）、②大学の先生や職員（27.3%）、
 - ③家族や友人（14.3%）、④SNSなどのコミュニティサイト（10.4%）
- ⑦卒業後に福島市で就職や起業することに関心はありますか？
 - ：①少し関心がある（40.3%）、②関心がない（24.7%）、
 - ③とても関心がある（19.5%）、④どちらでもない（15.6%）
- ⑧福島市で就職や起業をする場合、希望する職種は何ですか？
 - ：①サービス業・販売業（15人）、②事務員（8人）、
 - ③教職員（7人）、④農業（6人）